

☆本年度の重点の目標と方策（令和6年度）

○確かな学力～自ら学ぶ意欲を育てる～

- 1 学びたいという意欲を育てる取り組み
 - ・ラーニングマウンテンを複数教科で取り組みより魅力的なゴールを子どもと設定する。
 - ・ラーニングマウンテン作成により自分は何ができて、何ができるようになりたいかを自覚させる。
- 2 基礎・基本の定着を図る指導の徹底
 - ・毎朝10分間の算数タイムにより、計算や公式を用いた課題など、基礎力を高める。
 - ・各教科の知識、各教科で育成できる思考力を意識して育成する。
 - ・言語能力を育成する。
- 3 主体的・対話的に学び、自分の考えを表現する児童の育成する。
 - ・振り返る力により自力解決の力を育成する（ラーニングスキルの向上）
- 4 学びの基礎となる学習習慣の定着
 - ・宿題は必ず提出するように指導する。意欲を重視し、将来的には家庭学習を自ら考えさせる。
 - ・自主的に課題に取り組むよう、意欲を重視した授業を行う。
- 5 ICT利活用の推進
 - ・キーボード入力が各学年の目標を超える。
 - ・情報活用能力の向上（メディアリテラシーの育成）
- 6 英語に対する意欲を高める取り組み
 - ・挨拶やちょっとした独り言など、日常生活で使う英語を言える。

○豊かな心～心が通じ合い、思いやりのある集団を育てる～

- 1 「あいさつ日本一 平原小」の取組の徹底
 - ・心のこもった丁寧なあいさつ、あいさつで人を元気にする。
- 2 一人一人の良さや可能性を引き出す学級経営
 - ・自分の良さを発揮、友だちの良さを認め合える集団づくり。
- 3 特別支援教育の充実
 - ・全児童の得意な面を理解し、発揮できるように全職員で協力する。
- 4 キャリア教育の推進と特別活動の充実
 - ・総合的な学習の充実による個性の伸長と将来に対する展望と期待感の醸成。
 - ・縦割り活動を核とした取組の充実→高学年のリーダーの意識を常にもたせる。
 - ・「出番、役割、承認」による自己肯定感の醸成→感想交流による認め合い活動の充実。
 - ・清掃活動（10分間）をとおして、「貢献する」気持ちを育成する。
- 5 道徳及び人権・同和教育の充実
 - ・道徳的実践力の向上 ・なかよしタイム（担任による人権講話）の充実。
 - ・乱暴な言葉遣いをあらためる。
- 6 読書指導の推進→読書好きの子どもに。人生の解決策を本や人から学ぶ資質の育成
 - ・200冊をめざす
- 7 体験活動の充実→ふるさと「平原」の良さを実感する
 - ・地域のひと、もの、こと及び外部人材の積極的な活用 ・ボランティア教育の充実
 - ・海洋体験 ・自然物での作品制作
- 8 幼保小中連携の推進
 - ・町内幼保小中学校との交流の推進 ・大規模校との交流（6年生）

○健やかな体～活力ある人を育てる～

- 1 生活習慣の定着
 - ・朝食を必ず食べる・睡眠時間8時間以上・スマホ、ゲームは1時間ごとに3分の休息（目を休める）・昼食後の歯磨きの徹底
- 2 健康教育の充実
 - ・「命」を大切にする教育 ・薬物の危険性の理解（6年生を中心に）
- 3 安全指導の充実
 - ・防災教育の充実→日常的な話題を提供し、自分で判断する力を日ごろから育成する。